

「子宮頸がん検診における細胞診の有用性の検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2012年1月1日～2022年12月31日の期間に埼玉医科大学総合医療センターを受診し、当院で治療した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

当科で子宮頸がんと診断された症例で数年以内の検診の有無を調査し、子宮頸がんにおける細胞診の有用性を調査します。

3. 研究期間

病院長の許可後～西暦2024年7月31日

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

本研究は診療録より抽出した情報を用いて行う後方視的観察研究である。

診療録より年齢、BMI、基礎疾患、がん検診の記録、子宮頸癌のstageなど診察所見、治療内容、血液データ(血算、生化、腫瘍マーカー)を抽出します。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である重松 幸佑が管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

子宮頸がんの治療時に患者さんに関連した検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者(研究実施機関)

研究責任者：重松幸佑(総合医療センター・産婦人科 助教)

研究実施者：総合医療センター・産婦人科	医師	教授	高井 泰
総合医療センター・産婦人科	医師	教授	長井 智則
総合医療センター・産婦人科	医師	助教	魚谷 隆弘
総合医療センター・産婦人科	医師	助教	黒瀬 喜子

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

埼玉医科大学総合医療センター

担当：総合医療センター・産婦人科 助教 重松 幸佑

TEL：049-228-3681（医局）（平日 9 時～17 時）

Email：s_kosuke@saitama-med.ac.jp

○研究課題名：子宮頸がん検診における細胞診の有用性の検討

○研究責任者：重松幸佑（総合医療センター・産婦人科 助教）